

施策体系

網掛け：2021 または 2022 の状況

網掛け：No.● = 資料1-2の番号

B=予定通り E=未実施

| めざす姿 | 基本方針 | 基本施策 | 指標 | 重点取組 | 取組の主な内容 | |
|---|---|--|--|--|---|---|
| 子どもからシニアまで誰もが活躍し、まちづくりの担い手となることを目指して つながる 広がる 楽しむまち | 方針 1 市民が、市民活動を知る・参加するきっかけをつくります | 1-1 誰もが市民活動情報にふれることができる情報の発信 (1)市民活動情報の収集・整理 (2)効果的な市民活動情報の発信 | ○ボランティア活動やNPO活動などに参加している市民の割合 【現状値】 【めざす方向】 17.4% 17.4% ↑ (2021) (2021) | ①市民活動のすそ野の拡大 ②市民活動支援拠点の連携・コーディネート機能強化 | ・企業退職予定者への市民活動情報の発信 No.7・B ・広報紙「つなぐ」の発行 No.3・B No.5・B ・市民活動情報サイトとスマイルゆうネット（トヨタグループボランティアネットワーク）を基軸とした情報発信 ・市民活動センター情報サイトのリニューアルによる情報発信【新規】 No.4・B ・地域資源マップ※を活用した市民活動のコーディネート【新規】 No.2・B | |
| | | 1-2 誰もが市民活動に参加できる機会の提供 (1)市民活動を体験できる機会の提供 (2)社会課題に気づく場の提供 | ○地域の活動に参加している市民の割合 【現状値】 【めざす方向】 46.9% 46.9% ↑ (2021) (2021) | | ・社会課題をテーマとした講演会や講座の開催 No.15・B ・市民活動体験プログラムの開催 No.8・B ・多世代（子どもからシニア）を対象とした市民活動に触れる機会の提供 No.14・B | |
| | | 1-3 市民活動を始めやすい環境の整備 (1)活動を始めるための支援事業の充実 (2)利用しやすい活動場所の提供 | ○市民活動センター登録団体数 【現状値】 【めざす方向】 272団体 270団体 ↑ (2020) (2022) | | ・わくわく事業をはじめとする地域課題を解決する支援策の実施 No.31・B ・団体立ち上げ期における市民活動促進補助金（はじめの一步）を活用した支援No.25・B ・社会人によるプロボノ※としての社会貢献活動 No.27・B ・市民活動センター、交流館、ボランティアセンター等の市民活動に関する相談窓口の充実 No.24・B | |
| | 方針 2 市民活動者・団体が、活動を継続・発展させるための支援をします | 2-1 組織力強化を支援する仕組みの整備 (1)人材や運営に関する支援策の充実 (2)資金確保に関する支援策の充実 | ○市民活動情報サイト利用件数 【現状値】 【めざす方向】 11,914件 15,190件 ↑ (2020) (2022) | | ○市民活動促進補助金利用団体数 【現状値】 【めざす方向】 5団体 12団体 ↑ (2021) (2022) | ・各種セミナー（資金調達手法、事業継承、マネジメント能力向上、会計等）の開催 ・プロボノによる組織運営の支援 No.55、56・B No.55・B ・任意団体が法人化を進めるにあたっての支援 No.55・B ・団体継続期・発展期における市民活動促進補助金（活動ステップアップ・新規事業チャレンジ）を活用した支援 No.64・B ・新しい生活様式（ニューノーマル）に対応した事業実施の提案と活動事例の紹介【新規】 No.57・E |
| | | | ○市民活動情報サイト利用件数 【現状値】 【めざす方向】 11,914件 15,190件 ↑ (2020) (2022) | | ○市民活動促進補助金利用団体数 【現状値】 【めざす方向】 5団体 12団体 ↑ (2021) (2022) | ・「とよた活動応援ネットワーク※」・「中間支援コア会議※」を活用した中間支援組織の連携 ・多様な主体と行政による共働事業の把握と相談体制の充実 No.70・B No.66・B ・テーマ型団体と地縁組織の交流・連携 No.67・B |
| | 方針 3 市民活動支援拠点の連携・コーディネート機能を強化します | 3-1 効果的な課題解決に向けた多様な主体※の共働の仕組みづくり (1)多様な主体の交流の場づくり (2)多様な主体との共働事業の推進 | ○市が多様な主体と共働で取り組んだ事業件数 【現状値】 【めざす方向】 179件 177件 ↑ (2020) (2021) | | ○とよた活動応援ネットワーク・中間支援コア会議 参加延べ団体数 【現状値】 【めざす方向】 54団体 75団体 ↑ (2020) (2022) | ・＜再掲＞「とよた活動応援ネットワーク」・「中間支援コア会議」を活用した中間支援組織の連携 No.81・B ・＜再掲＞地域資源マップを活用した市民活動のコーディネート【新規】 No.84・B ・各ボランティアセンターと連携した市民活動マッチング機能強化 No.83・B No.82・B ・交流館をはじめとする中間支援組織の市民の活躍機会のコーディネート機能強化 |
| | | 3-2 市民活動支援拠点の機能強化 (1)中間支援組織等によるコーディネート機能の充実 | ○市が多様な主体と共働で取り組んだ事業件数 【現状値】 【めざす方向】 179件 177件 ↑ (2020) (2021) | | ○とよた活動応援ネットワーク・中間支援コア会議 参加延べ団体数 【現状値】 【めざす方向】 54団体 75団体 ↑ (2020) (2022) | ・＜再掲＞「とよた活動応援ネットワーク」・「中間支援コア会議」を活用した中間支援組織の連携 No.81・B ・＜再掲＞地域資源マップを活用した市民活動のコーディネート【新規】 No.84・B ・各ボランティアセンターと連携した市民活動マッチング機能強化 No.83・B No.82・B ・交流館をはじめとする中間支援組織の市民の活躍機会のコーディネート機能強化 |

※多様な主体：市民、市民活動団体、地域組織、企業、教育機関、行政等の様々な立場で公共の担い手となり得る者

※地域資源マップ：地域に点在する集いの場の情報を集約した情報展開ツール

※プロボノ：社会的・公共的な目的のために、仕事上の専門知識やスキルを活かすボランティア活動を行う人

※とよた活動応援ネットワーク・中間支援コア会議：市民活動の中間支援を行っている公的機関等（企業も含む。）で組織し、相互連携・情報交換・協議を行う会議体